

清水港湾事務所広報紙

発行

イメージキャラクター
「ベエズ」

みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

日韓港湾交流フォーラムin清水が開催されました

激化する国際貿易競争の中で、韓国および日本の港湾が今後どのように生き残っていくかを考える日韓港湾シンポジウムが、7月16日に静岡市清水文化センターで開催されました。

シンポジウムでは、石川嘉延静岡県知事、金庚壽駐日大韓民国大使館参事官らの挨拶の後、高松亨武蔵工業大学工学部教授の司会によるパネルディスカッションが行われました。

パネリストとして、金成鎔韓国釜山港湾公社副社長、安熙道韓国海洋研究院責任研究員、三森一彦清水港湾協会会長、角浩美静岡県建設部港湾局長、藤井敦清水港湾事務所長が参加し、日韓両国の物流戦略について熱心な議論が交わされました。

第二部の日韓交流コンサートでは、「朝鮮通信使交流議員の会」事務局長の原田令嗣衆議院議員らの挨拶の後、韓国を代表する伝統音楽演奏家の金徳洙さん率いるサムルノリと、日本を代表する和太鼓奏者である林英哲さんの演奏が繰り広げられ、約1000人の観衆を魅了しました。

なお、望月義夫国土交通副大臣もフォーラムに参加し、挨拶する予定でしたが、当日発生した中越沖地震の対応のため、急きょフォーラム直前に帰京されました。



石川嘉延静岡県知事の
主催者挨拶



望月義夫国土交通副大臣の挨拶
(同省港湾局梅山振興課長が代読)



パネルディスカッション



コンサートで挨拶をする
原田令嗣衆議院議員

ファインダーの向こう

7月の台風としては記録的な強の台風4号と、引き続き発生した中越沖地震は各地で大きな被害をもたらしています。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

写真は、以前お話ししました三保海岸のブロックにあたる波の姿です。台風が清水を通過した直後の7月15日に写したもので、青空が見えていますが、海はまだ荒れています。

海岸のブロックの景観には議論があるところですが、砕け散る波のエネルギーを目の当たりにすると、国土が守られているという安心感も覚えます。防波堤も同じく、普段はその必要性がわかりにくいのですが、一度、海が荒れると船舶にとっても、港の施設にとっても頼もしい存在となります。

静岡県は東海・東南海地震や、台風災害の危険性に直面している地域ですが、一方で、高度成長期に整備された港の施設の老朽化も進んでいます。災害に備え、港の施設を適切に整備し守っていくために心を砕いていきたいと思っています。



Photo : A.Fujii

御前崎の海水浴場は夏本番！

梅雨明け前の6月30日に静波海水浴場で、また、7月1日には御前崎海水浴場で海開きが行われました。

静波海水浴場では、午前11時には気温が30近くまで上がり、すでに夏本番を思わせる暑さの中、園児達が初泳ぎを楽しみました。

また、御前崎海水浴場では、地元の幼稚園児によるマダイの稚魚1000匹の放流が行われました。



静波海水浴場の海開き



マダイの稚魚を放流

御前崎港でみなとクリーンアップ作戦が実施されました

7月21日に、御前崎港のコンテナ埠頭周辺で今年で12回目となる「みなとクリーンアップ作戦」が行われました。

当日は小雨の降るあいにくの天気でしたが、関係機関の職員や、御前崎港港湾建設工事安全協議会のメンバーなど、総勢約100名が参加し、ジュースの空きカンや空きビン、弁当の容器など約500kgのゴミを拾い集めました。

参加者からは、「こんなにたくさんのゴミが捨てられているとは思わなかった。」「入港する船舶やお客さんを、きれいな御前崎港でお迎えしたい。」などの声がありました。



熱心にゴミを拾い集める参加者



御前崎港の浮標灯交換始まる

浮標灯(ブイ)は、航路の安全を確保するため、港内の防波堤や工事区域周辺などに設置し、障害物があることを知らせる施設です。

御前崎港には現在7基が設置されており、御前崎港事務所で点灯確認や維持管理・補修を行っています。

浮標灯は、厳しい風雨や波浪に耐え続け、夜間や荒天時にも休まず点灯し、その役割を果たしていますが、海水による腐食や損傷のため、年に1度の整備点検が必要となります。

今年も7月上旬から作業に入り、順次、塗装などの整備をしたあとで、再び海に設置する予定です。



海の安全を守る浮標灯



防食ペイントなどで色直し

また1年間がんばってください！
よろしく願います。



御前崎港に「TSUBAKI(つばき)」が入港しています

御前崎港に入港する船舶では最大級のコンテナ船「ACX TSUBAKI」号(総トン数32,654、全長227.4m)の写真です。

この船は、東南・西アジア航路に就航しており、同航路のほかの船にも、「プルメリア」「マーガレット」「ミモザ」「ジャスミン」など、花の名前がつけられています。

みなさんも、港に行かれたら、船の名前を見てみると面白い発見があるかも知れませんね。



大きくても、名前はかわいらしく「つばき」です。



田子の浦港海上安全祈願祭が開催されました

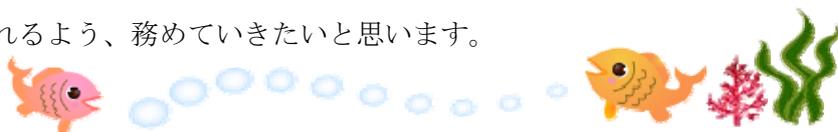
海上物流を担う船舶や工事船舶、漁船などの無事を祈り、田子の浦港の発展と安全を海に願う「海上安全祈願祭」が、7月18日に田子の浦港で開催されました。

祈願祭当日の天気は、台風4号通過直後ということもあってあいにくの曇り空でしたが、「海の日 田子の浦港実行委員会」の会長である鈴木尚富士市長を始め、関係者約60人が集まり、厳粛な雰囲気の中、古式に則って滞りなく執り行われました。

海上の安全は、実際に船の操船に従事している方の他にも、海上保安業務に携わっている方、信号所や灯台、通信施設などの運営や維持を行っている方、気象情報や船舶情報に携わっている方など多くの方々の地道な努力と安全への願いによって守られるものだと思います。我々も港の仕事に携わる一員として、今後も海上の安全が守られるよう、務めていきたいと思ひます。



鈴木尚富士市長の挨拶



田子の浦港よもやま話

先日、田子の浦漁業協同組合代表理事の外山廣幸組合長に田子の浦港にまつわるお話を伺いました。



現在の田子の浦港



昭和35年5月の様子



昭和40年5月の様子

田子の浦港ができる前の辺りのようす

うるいかわ 潤井川、しげ 沼川など大小6本の川が集まりよしわらみなと 吉原湊と呼ばれる大きな入り江を形成していた。春先に海が時化ると入り江の入り口が砂で閉塞して水が溜まり、あたり一面が水浸しになることがたびたびあった。そのときは地元の人たちが人力で、鍬などを使って閉塞した部分を切って溜まった水を海に流した。河口内と海との水位差が大きいため、少し切っただけで閉塞したところが水流によって削られ、みるみるうちに河口が大きく広がった。



田子の浦漁業協同組合外山廣文組合長

ぶよぶよの土地に...

沼川の上流(浮島)あたりは、湿地帯で地面が豆腐のようにぶよぶよだったが、田子の浦港ができて水はけが良くなったため、地盤の水が抜け締まった土地になり、建物が建てられるようになった(現在、浮島工業団地が立地しています)。

田子の浦港は日本一の港

田子の浦港は日本の中央にあり、荷物を東へ持って行くにしても、西へ持って行くにしても便利。しかも、港内の水の上層は川が流れ込むため淡水になっており、漁船の船底にカキ類がまったく着かないので、漁師は非常に助かっている。

組合長さんのお話からは、田子の浦港を愛する思いがひしひしと伝わってきました。これからも、田子の浦港が発展するよう、我々も頑張ります。



田子の浦港事務所 村上裕幸所長

「海の日式典」が開催されました

7月18日に清水マリビルで「海の日式典」が望月義夫国土交通副大臣の出席のもと開催され、海事功労や港湾の振興発展に力を尽くされた方々の表彰式が執り行われました。港湾の関係では伊東の海岸を守る会が国土交通大臣表彰を受けました。また、港湾振興発展の功績で鈴与株式会社の遠藤芳伸氏が、永年勤続功労として静和工業株式会社の山本和利氏がそれぞれ中部地方整備局長表彰を受けました。更に港湾建設功労の分野で国土総合建設株式会社名古屋支店の井上和久氏が清水港湾事務所長表彰を、また、大栄興業株式会社及び三信通商株式会社が、清水港湾事務所長からの感謝状を受けました。なお、国土総合建設株式会社名古屋支店は優良工事施工者として、7月16日に名古屋において、中部地方整備局長表彰を受けています。

また、式典では海の図画コンクールときれいな川と海・美しい港を守る標語コンクールの表彰が行われました。標語コンクールでは清水小学校3年生の原木貴浩さんと清水飯田中学校2年生の望月絵未さんが最優秀賞を受賞しました。選ばれた標語は清掃船「ともえ丸」の両舷に飾られています。

海の日には「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う」ことを目標に国民の祝日に制定されています。海の日式典で表彰を受けられた皆様に心よりお祝い申し上げます。



望月義夫国土交通副大臣による大臣表彰



受賞者のみなさま



表彰状を受け取る子供たち

清水小学校3年生
原木貴浩さんの作品



清水飯田中学校2年生
望月絵未さんの作品

下田港でカジキ釣り大会が開催されました

7月20日より3日間、下田港を拠点に第29回国際カジキ釣り大会が開催され、全国各地から104艇が参加しました。

大物賞は、高知から参加したチームピノキオの山本丁三さんのクロカジキ136.9kg、優勝はクロカジキ2匹を釣り上げたOSフィッシングチームでした。



写真提供 下田市役所

みなと見学会

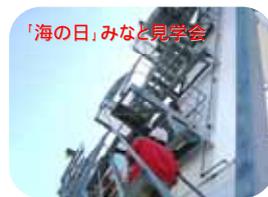
見学実績	7月12日	玉川小学校 4、5年生
	7月17日	麻機小学校 5年生
	7月22日	「海の日」みなと見学会



海上から見る船に釘付け！



ビデオで学習中...みんな真剣



ドボキ ガントリークレーンに登る様子

海とみなとの相談窓口



おーいに  全国共通フリーダイヤル  よくなれ  みなと

0120-497-370

受付時間: 9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください